

鬼 哭 -参-

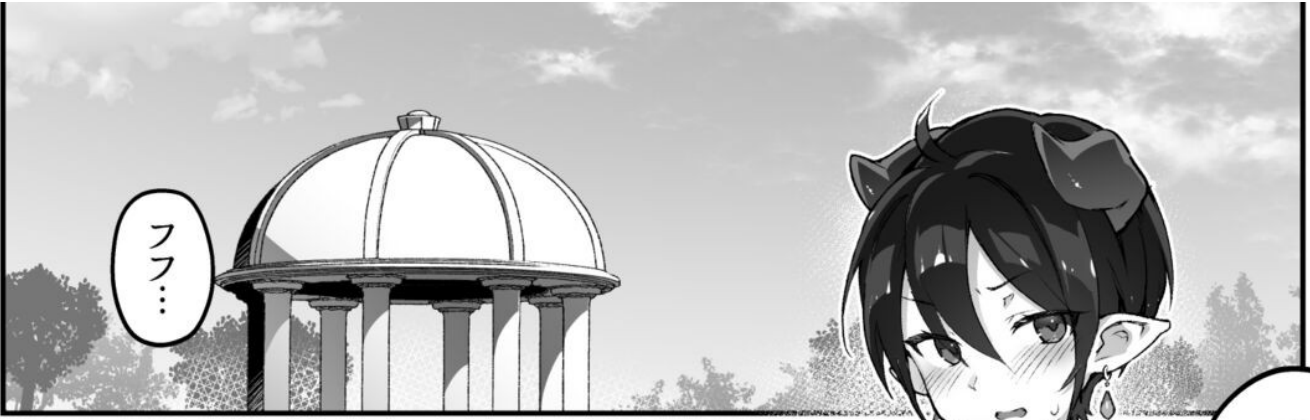
鬼姫崩落淫悦魔宴

R18
成人指定
18歳未満閲覧禁止
ADULT ONLY

created by おきえん

■前回までのあらすじ……

鬼族の姫「砂霧^{さぎり}」は、一族が治める自治区「亜人領^{あじんりょう}」での行方不明事件を追ううち、「グレゴール」という違法な禁術研究を行う貴族と対峙するも、その卑劣な罠に敗れてしまう。怨敵の禁術による肉体支配と淫蟲を操る執拗な調教に、砂霧はやがて内なる淫性を引き出されてゆき――



フフ……



いつも
いつも……

貴様の変態
趣味には辟易
させられる……



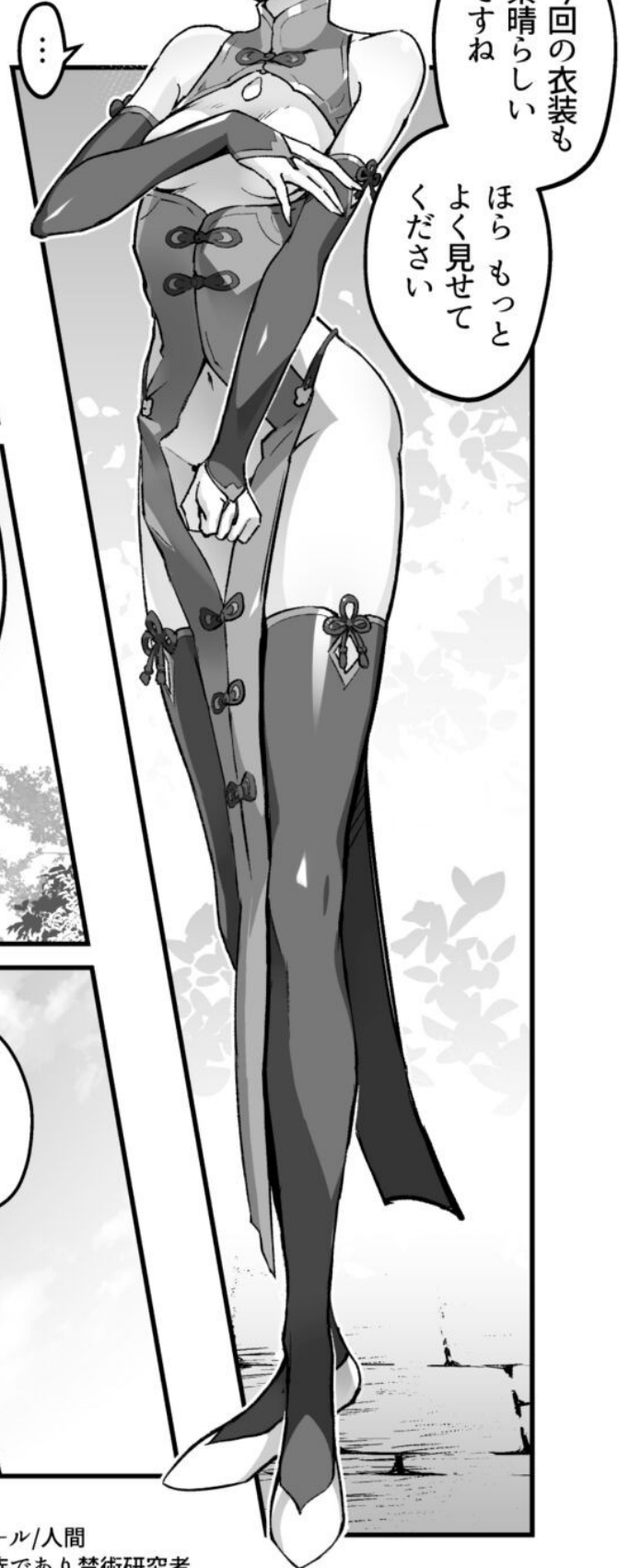
こんなモロ出しの
恰好……みつとも
ないだけだろ……

まあそう
おっしゃらず



それに
その――

……!



今回の衣装も
素晴らしい
ですね

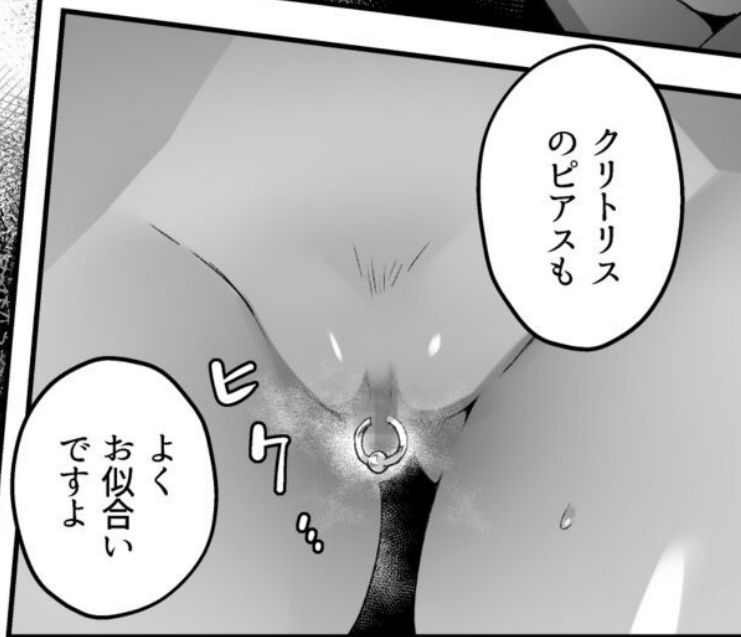
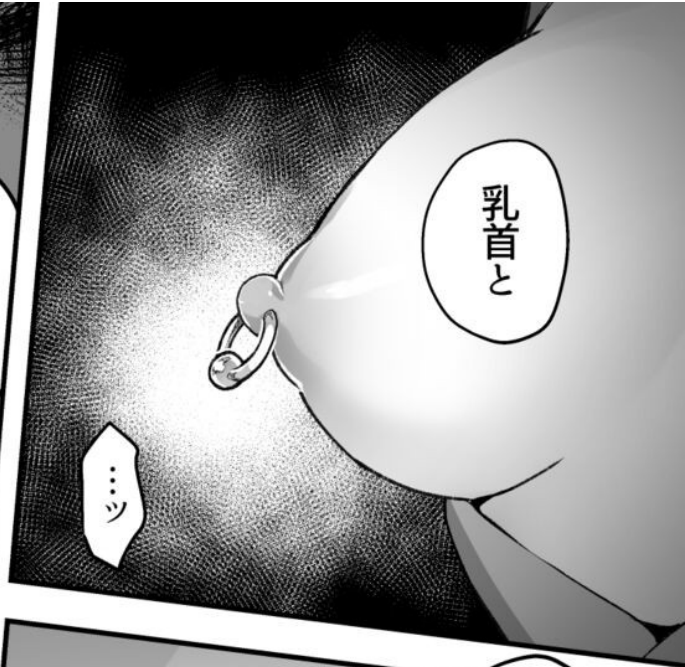
ほらもつと
よく見せて
ください



砂霧(さぎり)/鬼族
亜人領領主の一人娘



グレゴール/人間
地方貴族であり禁術研究者





あのような無骨な
首輪をいつまでも
つけさせておく
わけにもいきま
せんからね

そして…
フッフ

その呪印も
タトゥー
しっかり安定
していますね

行動支配
の禁術

なんで
そんな所に…

だから
って…

身体に直接
刻まれて
もう外す
ことも…



こんなの
何でもない
今に皆と…

こ



そう
ですか…



どんな気分
ですか？

貴女の大切な
領民を研究の糧と
しか思っていない
私の様な最低の
犯罪者に敗北して

からだ
牝体を
好き勝手に
弄ばれると
いうのは



こ…
こんな奴に
これ以上…

好き勝手
させちゃ
ダメなのに…

なんで…
ボク—



腰をこちらに
つき出して

ゆっくり
足を開いて
ください

な…



こ…っ
これを
また…

奥まで
突き入れて…

膣内
かき回して…

ボクのこと
めちやくちやに
するつもり
なんだ…



こ…
腰を…

つき出す…



あ…っ

あたって…

気持ち良く
されちゃうんだ…



ねっとり
押し潰して…



G
ス
ポ
ッ
ト
コ

アッ

膣肉全部
かきわけて…

ビク…

子宮口
突き上げて…

ビク…



許しちゃ
ダメなのに…

こ…こんなの



ダメなのに…っ

ば

か

フキッ…



考えた
だけで

アソコが
キュンキュン
して…





あつ…
あれ…?

ウン…

ボク…ッ

まだ何も
されて
ないのに…

かんがえた
妄想
だけで

おやおや…







ひとり
じゃ…

ない…？

彼らは私の
禁術研究に助力して
いただいている
協力者の皆様です

え…

賓客ですので
粗相の無い様に
お願いしますね

— そうか

コイツら…

ボクのことを
品評するために
来たんだ…

…で

何だ？ あの
…ステージ？

ここで何か
させるつもり
なのか…？

では
砂霧さん

皆さんに
“ダンス”を
お見せして
下さい

ダンス…!!?

ボクはこんな
衣装でする様な
踊りなんて…

— フフ

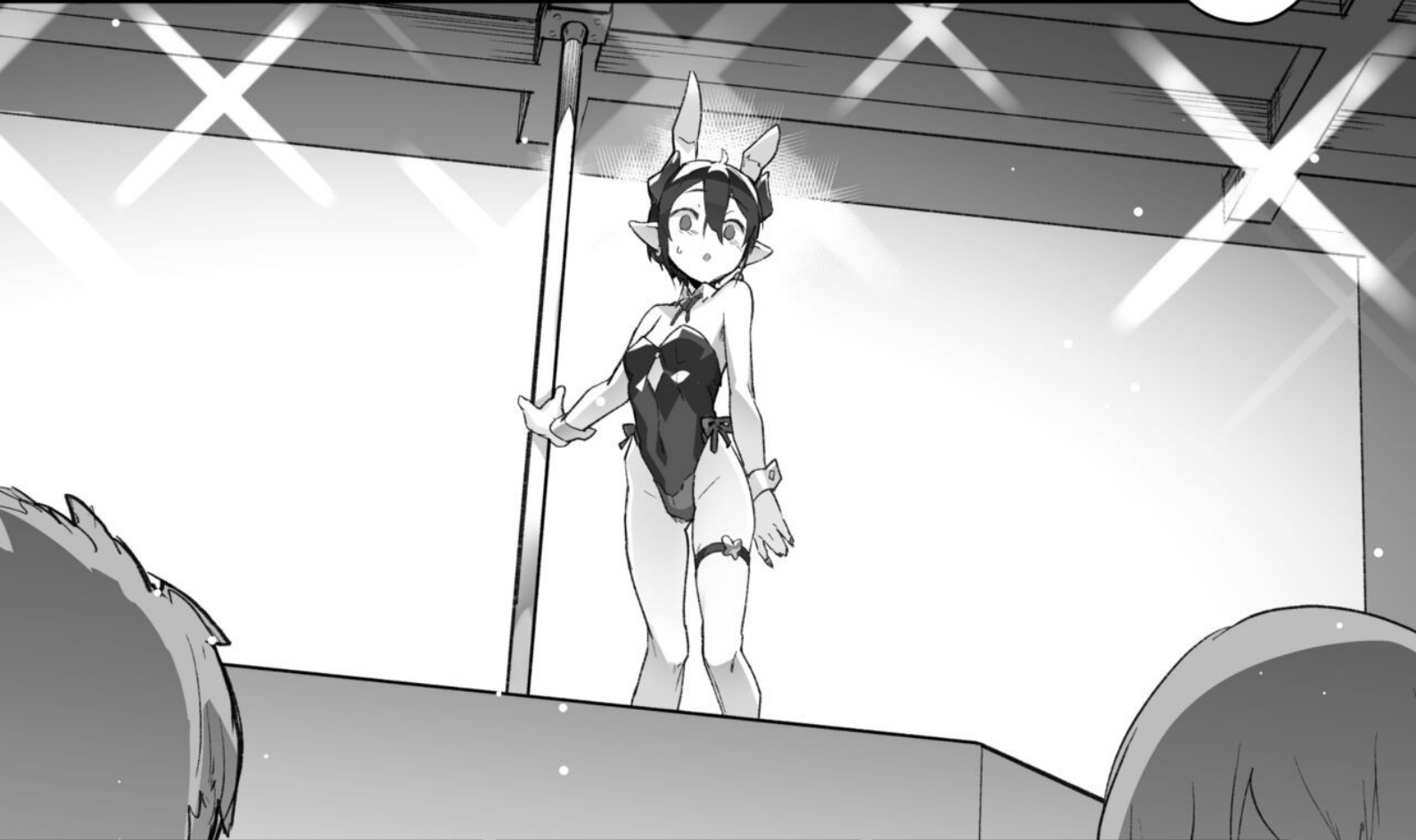
何を言っ
てるんです？

貴女の
肉体の支配権は
その呪印^{タトゥー}にある
んですよ

あ…



貴女が踊り方を
知っている必要
など無いのです



わかれ
ちゃう...
キュン...♡

全部



コイツらの
下卑た
視線...

そんな風に
見上げ
られたら...



下で見た印象
より高いし
明るい...

それに



な...っ
これ...



ボ...ボク
こんなの
耐え

タトラー
呪印の力で
この後の動きが
全部わかる...



ピアスで
敏感になった
クリトリリスが

ポールに
おしつけ
られて...

みち...

ああ……

身体が

ダメ……

勝手に
動いて

こんなの

自分の意志じゃ
ないはずなのに……

ぎゅ……

イヤらしい目で
観られてるの
感じると

ドキ

すごく

ドキドキして……



感じてるとこ
視られてる…

動くたび
敏感な場所
コスられて

キッ…

ビッ

ビッ

こんなの…

嫌なはず
なのに…

どきどき♡

どきどき♡



どうしよう…

フン…

バレ
ちゃう…



視られて
やらしい気持ちに
なってたって

はー

はー

気づかれ
ちゃうよお…



ど……

パチ

パチ

パチ



おつかれ
さまです

お見事
でしたよ

さあ
どうぞ
こちらへ

モジモジ

さて

これはもう
要りませんね

え...

な...
なんで

そこ...
とれ...

もう...
何も

うん

これは
いい仕組み
ですね

隠せなく
なっちゃった...

あ

ズルルン

い...

ああ...つ

ぬち

あ...



失礼させて
もらうよ

じゃあ
お嬢さん

びく



鬼の族長の
娘とは

まったくです
流石は
グレゴール卿
ですな

では
失敬

ふわ



グレゴール卿

ええ

皆さんで
たつぷり
愛してあげて
ください

彼女も
悦びます



ああ
そうだ

砂霧さん



彼らの愛撫では
貴女は絶頂に
達する事は
できませんので
悪しからず

えっ



そ

だそうだ
大変だねえ
お嬢さん

それって...



おー
いい反応

そん

びく

にゅ

おー



皆…
すぐに

この人達…

ほお♡ほ♡
お♡お♡
ほ♡ほ♡

ボクの弱い所
探り当てて

トロ…

びゅ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

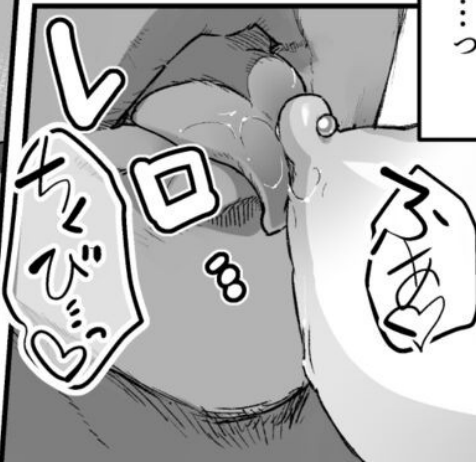


こんなに
執拗に全身
愛撫され
たら—

いつも
情けないくらい
簡単にイっちゃう
のに—



容赦なく
追い込んで
くる…っ







どき

知らない
人達の前で

どき

オナニー
するなんて…

死ぬほど
恥ずかしい…っ

でも

もう…っ

ガマン

できない…ッ

きたあつ♡

いちばん
おくっ♡









恥ずかしい…
こんなこと
ダメなのに…っ

もっ…シたく
なっちゃう…♡

視られると
ドキドキして…

あは♡

潮吹いて
イクの…



発情おまんこと
改造おしっこ穴

バレバレ
弱点 全員に
狙われて…っ

両方
しっこく
イジめ
られて

これっ 好きに
なっちゃう…♡

全身屈服
しちゃって
る…っ♡

すごいよお……

ここに来る
までボク

はッ

こんな気持ち
いいコトが
あるなんて

あ

あう

想像もして
なかった——

あ

そろそろ
良い
ですかね

砂霧さん

貴女に
問いをひとつ

……?

貴女は——

私の“何”
ですか?

私とは異なる
考えをお持ち
であれば

お仲間と共に
亜人領に帰って
いただいて
結構です

——ですが
もし見解が一致
するのであれば

今後実際に
その様に扱わせて
いただきます



な…
なんで今
そんなこと…!

ゴロを
捨てて…?



帰れる…?

又
皆と…?
千々



ボク…



ボ



……





ぜんぶ
ぜんぶ

この快樂に

ご主人様の
モノです♡

ボク
知らなかった
んです…

逆らえ
ないよ…

こんなに
気持ちいいコト
がある事も



ボクが気持ち
いいコトに
こんなに
弱くて—

ご主人様が
教えて
くれたの…

ひどいコトされて
悦んじやう
変態だつて事も

本当の
ボクを教えて
くれたの…っ

だからもう
あんなところ
亜人領になんか
戻れない…

戻りたく
ないよ…

では

どうすべきか
わかりますね

—うん

犯して
下さい♥

淫蟲じゃない
本物の
おちんちんで

ボクのこと
めちやくちや
にして……

入口まで
おりて
きちやつた
はしたない
子宮

元の位置まで
押し戻して……

屈服させて
ペットの証
刻んで……♥

誰が
ご主人様なのか
わからせて……♥





あはっ♥





その
お方





【奥付】

発行者：おきえん (OXIDE_Lab)
発行日：2024年 8月12日

- 連絡先 -

Mail :
OXIDEENGINE@gmail.com

X(twitter) ID :
@OXIDE_rated (成人向け/同人)
@OXIDEENGINE (全年齢/イラスト)

PixivID :
72390985 (成人向け/同人)
37929 (全年齢/イラスト)

コミケ WebカタログID :
19011430



【印刷】

有限会社 ねこのしっぽ 様

本作はフィクションであり、性犯罪を肯定あるいは助長する目的で制作されたものではありません。
本作の無断転載を禁止します。

Reproduction prohibited / 전재 금지 / 禁止轉載 / 禁止转载



OXIDE_Lab